

# ☆市民活動をFMラジオで発信☆

## 『つなげよう！市民のチカラ！』



写真：一戸さん

○第81回：2022年3月27日（日）

○ゲスト：宮園町会

町会長 一戸 茂人（いちハ ｼﾞﾝ）さん

○ 放送内容

今回の放送では、宮園町会町会長・一戸さんをお招きしました。一戸さんにはこの日、宮園町会が発行している町会だより「広報みやその」に関するお話や、宮園町会の現状や町会活動の今後の展望などについてお話しいただきました。

○ 「広報みやその」って何？

宮園町会では、青年部、婦人部、老人部の各部会において様々な活動を展開しています。「広報みやその」は、各部会の活動内容や、町会役員がどういった仕事をしているのかをまとめた町会だよりとして、町会内で回覧されています。レイアウトや内容などを工夫して作成されており、令和2年度の「町会だよりコンクール」では、応募のあった全19作品のうち最優秀賞（1位）を獲得しました。

○ 町会だよりを冊子化！ 宮園町会の歴史を辿れるツールに📖

一戸さんは、「広報みやその」150号の発行を機に、これまで発行してきた「広報みやその」をまとめた冊子を作成し、町会活動の情報発信に積極的に取り組んでいます。一戸さんは「この冊子を開くことで、これまでの宮園町会の活動の軌跡をたどり、昔を振り返ることができる貴重なものになったと思う。」とお話しされていました。宮園町会の内容ではありませんが、そこから「弘前市の歴史の一部」を懐かしい気持ちとともに感じ取ることができる冊子となっています📖

○ 宮園町会の課題と、これから目指す取組みとは🗣️

市内の他の町会でも見られる「町会の人手不足」の問題は、住宅街が多い宮園町会においても例外ではなく、世帯数の減少に伴う人口減少、少子高齢化が進んでいるのが現状です。実際に、宮園町会青年部は平均年齢が65歳を超えており、最年長は80歳に近いようで、町会としても「若い世代にどんどん加わってほしい」と感じています。こうした町会内の状況について一戸さんは「解決していかないと、地域活性化にはつながらない。どうしたら少子化がなくなるか、一番懸念している。」と危機感を感じています。さらに一戸さんは、長引くコロナ禍での自粛生活の中で、「対面でのコミュニケーション不足」についても危惧されており、「対面で人と接することは大事。コミュニケーションは、長生きの秘訣でもあると思う。隣近所の顔が見え、孤独感の解消につながるような取組みが出来ればいいなと考えている。」とお話しされていました。